

「第 29 回 義経まつり」 静御前役・優希美青インタビュー

2026 年 9 月 23 日（水・祝）のくにみの日に、毎年開催されている「義経まつり」。目玉となる義経公行列で、昨年に続き静御前役を務めるのは、現在テレビドラマ「ファーストクライ 母子救命救急班」に出演中の俳優・優希美青さん。昨年の「義経まつり」を振り返ってもらいつつ、今年の「第 29 回 義経まつり」への抱負を聞きました。



——まず、昨年の「第28回義経まつり」のオフアールを受けたきつかけを教えてください。

私は福島県出身ですので、いつか福島でお仕事ができたらいいな、とはずっと思っていました。ですので、お声がけいただいたときは、率直に「うれしいー」と思いましたね（笑）。国見町の「義経まつり」も、実はオフアールをいただくと、歴史を重ねてきたお祭りですので、福島でお仕事ができること、そしてそんな歴史ある「義経まつり」に静御前として出られること、その両方がうれしかったですね。

——昨年、静御前役として義経公行列に参加してみて、いかがでしたか？

実は、当日まで武者行列のイメージがあまりついていなくて。「義経公は乗馬する」というイメージはあったのですが、静御前は何をするんだろ？と。当日は立派な輿車に乗せていただけて……まさにお姫様！という大変貴重な経験をさせていただきました（笑）。輿車からは、集まってくれた皆さんの顔がよく見えるのですが、その笑顔から「義経まつり」を待ち遠しくしてくださったことが伝わってきて、感動で思わず涙ぐんでいました。



——優希さんは、映画「GOZEN 純恋の剣」や、NHKのBS時代劇「赤ひげ3」といった時代劇にも、多く出演されていらっしゃると思います。着物は着慣れているしやるかとは思いますが、静御前のお衣装は着てみていかがでしたか？

ドラマや映画とも、またちょっと違いますね。静御前のお衣装は重みがあるので、着るとすぐ気が引き締まりました。かつらも、特別感がありますね。静御前のかつらは、わざわざ私の頭にぴったり合わせたものを作っていたんだんです！

～ Profile ～

優希美青（ゆうきみお）

1999 年、南相馬市生まれ。俳優。2012 年、第 37 回ホリプロタレントスカウトキャラバンにてグランプリを獲得。2013 年にテレビドラマ「雲の階段」でデビュー。NHK 連続テレビ小説では「あまちゃん」「マッサン」に出演。現在、日本テレビ系「ファーストクライ 母子救命救急班」に出演中。

——義経公役には、昨年は俳優・歌手の中山優馬さん、今年は俳優・溝端淳平さんが抜擢されました。

中山さんとは、「義経まつり」がはじめてだったのですが、気さくで、「頼りがいのあるお兄ちゃん」という印象でした。トークショーもすごくリードしてくださって、すごくありがたかったですね。溝端さんも、今回が初共演です。まだお会いしたことがないので、あくまでイメージですが……とにかく爽やかで、誠実そうですね。ご一緒するのが楽しみです。

